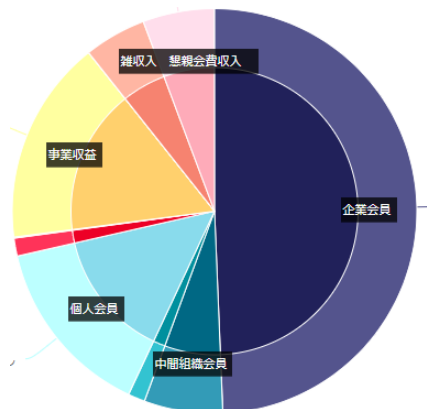


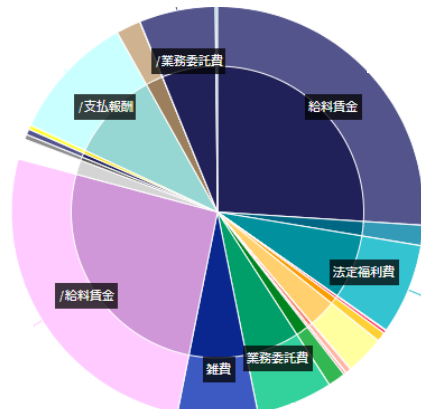
サステナビリティ日本フォーラム 2023 年度事業報告

(2023 年 1 月 1 日～2023 年 12 月 31 日)

会員動向・財務状況



2023 年度収入： 5,651,567 円



2023 年度支出： 5,748,352 円

会員数は 141 名（2023 年 12 月 31 日現在）。19 名の役員（別添_役員一覧）、24 名の評議員および 11 名の運営委員と専従職員は 2 名。2023 年度の入退会状況は、企業会員は 4 社入、3 社退（+1）

事業概要

◎:会員拡大含め非会員向けにも開催 ○:会員向けに開催 青字は新規取組み

対象者	サステナビリティに資する情報開示を促進し持続可能な社会を構築するためのプログラム		
	調査・研究	講座・座談会	レポート・発行物
CSR 部門担当者／サステナビリティ志向の企業人／CSR の裾野を広げる取組みに関心を持つ人	◎生物多様性調査スタディツアー	○研究会 ○役員懇談会 ○サステナビリティ座談会 ◎サステナビリティ基礎講座 ◎サステナビリティ中級講座	◎TCFD コンパスマンガ ◎TCFD 各種ガイダンス ○会員メールマガジン ・会員専用ページ運営 ◎メールマガジン・ウェブサイト
サステナブルな社会構築・地域創生に関心を持つ人	大学講義への協力	—	

事業内容

青字は 2023 年度新規取組み

・第 5 期 TCFD+コンパス研究会 —企業の CSR 活動を啓発・促進する事業

開催	講師等（敬称略）	研究内容	参加者（ ）内は非会員
パート 1（インテグレート） 6/30,7/18,8/1,9/6	藤田 香（日経 BP）、森 洋一（公認会計士）、 原口 真（MS&AD インシニアスグループ HLDGS）、 川北 秀人（IIHOE）	最新動向、対象企業の検討	69(9),62(4), 64(8),52(6)
パート 2（ワークショッパート） 10/25,11/28,12/26	後藤 敏彦（Sus-FJ）、足立 直樹（レゾナンスサステナビリティ）	対象企業：サントリー-HLDGS	27(0),26(0),26(0)

・生物多様性調査スタディツアー（6 名[子ども 2 名含む]）

・TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）の 2 文書（TCFD コンソーシアム共訳）と 3 文書の私訳版の普及、TCFD コンパスマンガ（日本語、中国語、英語）の普及
・EU 企業のサステナビリティ報告に関する規則 CSRD の翻訳—サステナビリティ・レポートに関する研究を推進し、国内外へ提言・提案を行なう事業

・サステナビリティ関連講座—企業のCSR活動を啓発・促進する事業

開催	タイトル	講師	参加者数（ ）内は非会員
5月23日	サステナビリティ座談会～ 第1期 後藤塾～	後藤敏彦	21名
2/7&14,3/6&14,4/12&18,6/6&13,7/4&11,9/5&12,10/10&17,11/7&14	サステナビリティ基礎講座 (前半・後半の2日制) 全8回	金澤 厚	第1回 5 (2)、第2回 6 (1)、第3回 11 (1)、第4回 13 (1)、第5回 4 (0)、第6回 5 (1)、第7回 4 (1)、第8回 17 (2) 合計 65 (9)
11月8日	サステナビリティ中級講座	木村 則昭	21 (3) 名

・大学の特別講義への協力—サステナビリティ社会構築に向けた調査・研究・支援事業

・引き続き環境監査研究会、NSC（サステナビリティ・コミュニケーション・ネットワーク）等、関連団体との体系的な協力を図る

- ・ウェブサイト（フェイスブックページ含）、会員専用ページの運営
- ・メールマガジンの配信（会員メルマガ9回、一般[会員と非会員]メルマガ12回）
- ・次期代表理事の検討

・総会、理事・評議員会

開催日	総会、理事・評議員会	出席者数（委任状出席）
2/26	評議員会決議事項 理事の選任 理事会決議事項 評議員の選任、運営委員の選任、 2024年度事業計画（案）および予算 総会決議事項 2023年度事業報告および決算	総会 66名内本人出席 25名（委任状出席 41名）、 理事会 17名内本人出席 10名（委任状出席 7名）、 評議員会 23名内本人出席 7名（委任状出席 16名）
8/22	臨時理事会 代表理事の選任、会務の実行に関わる事項の決議	理事会 17名内本人出席 9名（委任状出席 8名）

・役員懇談会（1/11 参加者 25名、8/22 参加者 29名の2回実施）

以上

2023年度 活動計算書

2023年 1月 1日から 2023年12月31日まで

特定非営利活動法人 サステナビリティ日本フォーラム

(単位：円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1 受取会費		
正会員受取会費		
団体会員		
企業	2,750,000	2,750,000
中間組織	350,000	350,000
CSO (NGO)	75,000	75,000
個人会員	805,000	805,000
正会員受取会費計		3,980,000
賛助会員受取会費		
団体会員	0	0
個人会員	80,000	80,000
賛助会員受取会費計		80,000
2 受取寄附金		
受取寄附金	5,000	5,000
3 受取助成金等		
受取助成金	0	0
4 事業収益		
(1) 企業のCSR活動を啓発・促進 する事業収益	227,000	227,000
(2) サステナビリティ社会構築に向けた調査・ 研究・支援事業収益	684,000	684,000
(3) サステナビリティ・レポートの国際標準を めざすGRIスタンダードの普及・啓発事業 収益	0	0
(4) サステナビリティ・レポートに関する研究を 推進し、国内外へ提言・提案を行う事 業収益	0	0
(5) その他	0	0
5 その他収益		
受取利息	67	67
雑収入	357,000	357,000
懇談会費収入	318,500	318,500
経常収益計		5,651,567
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	1,476,134	1,476,134
賞与	90,000	90,000
退職給付費用	0	0
福利厚生費	0	0
人件費計		1,566,134
(2) その他経費		
売上原価		0
会議費	108,800	108,800
旅費交通費	25,356	25,356
通信運搬費	19,970	19,970

	消耗備品費	22,795		22,795
	印刷製本費	0		0
	研修図書費	0		0
	交際費	0		0
	諸謝金	564,506		564,506
	諸会費	0		0
	支払手数料	9,540		9,540
	業務委託費	378,195		378,195
	雑費	1,200		1,200
	その他経費計		1,130,362	1,130,362
	事業費計		2,696,496	2,696,496
2	管理費			
	(1)人件費			
	給料手当	1,476,135		1,476,135
	賞与	90,000		90,000
	雑給	0		0
	退職給付費用	0		0
	法定福利費	404,400		404,400
	福利厚生費	2,319		2,319
	人件費計		1,972,854	1,972,854
	(2)その他経費			
	会議費	13,090		13,090
	旅費交通費	41,467		41,467
	通信運搬費	173,436		173,436
	消耗備品費	1,727		1,727
	減価償却費	25,000		25,000
	印刷製本費	0		0
	研修図書費	0		0
	交際費	0		0
	諸謝金	1,113		1,113
	諸会費	10,000		10,000
	保険料	0		0
	支払手数料	78,474		78,474
	租税公課	0		0
	業務委託費	378,195		378,195
	広告宣伝費	0		0
	雑費	356,500		356,500
	その他経費計		1,079,002	1,079,002
	管理費計		3,051,856	3,051,856
	経常費用計		5,748,352	5,748,352
	当期経常増減額		-96,785	-96,785
III	経常外収益			
	経常外収益計		0	0
IV	経常外費用			
	棚卸資産減少額	0		0
	経常外費用計		0	0
	経理区分振替額	0	0	0
	税引前当期正味財産増減額	0	-96,785	-96,785
	法人税、住民税及び事業税	0	0	0
	当期正味財産増減額	0	-96,785	-96,785
	前期繰越正味財産額			6,165,133
	次期繰越正味財産額			6,068,348

2023年度 財産目録

2023年12月31日現在

特定非営利活動法人サステナビリティ日本フォーラム

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
手元現金	0		
三井住友銀行赤坂支店 普通預金	700,303		
三菱UFJ銀行目黒支店 普通預金	6,376,290		
売掛金	0		
未収金	0		
棚卸資産	0		
仮払金			
社会保険料個人負担一時立替分	42,168		
流 動 資 産 合 計		7,118,761	
2 固定資産			
(1)有形固定資産			
什器備品 パーソナルコンピュータ	25,002		
有形固定資産計	25,002		
(2)無形固定資産			
無形固定資産計	0		
(3)投資その他の資産計			
投資その他の資産計	0		
固 定 資 産 合 計		25,002	
資 産 合 計			7,143,763
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金			
ライフカード	31,551		
阪野 立替経費	1,000		
12月社会保険料	85,344		
前受金			
役員懇談会費	6,500		
前受会費			
2024年度会費	940,000		
預り金			
社会保険料他	11,020		
流 動 負 債 合 計		1,075,415	
2 固定負債			
固 定 負 債 合 計		0	
負 債 合 計			1,075,415
正 味 財 産			6,068,348

2023年度 貸借対照表

2023年12月31日現在

特定非営利活動法人サステナビリティ日本フォーラム

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	7,076,593		
売掛金	0		
棚卸資産	0		
未収入金	0		
仮払金	42,168		
流 動 資 産 合 計		7,118,761	
2 固定資産			
(1) 有形固定資産			
什器備品	25,002		
有形固定資産計	25,002		
(2) 無形固定資産			
無形固定資産計	0		
(3) 投資その他の資産			
投資その他の資産計	0		
固 定 資 産 合 計		25,002	
資 産 合 計			7,143,763
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	117,895		
前受金	6,500		
前受会費	940,000		
預り金	11,020		
流 動 負 債 合 計		1,075,415	
2 固定負債			
固 定 負 債 合 計		0	
負 債 合 計			1,075,415
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		6,165,133	
当期正味財産増減額		-96,785	
正味財産合計			6,068,348
負債及び正味財産合計			7,143,763

監査報告書

サステナビリティ日本フォーラム 御中

2024 年 1 月 11 日

サステナビリティ日本フォーラム

監事 魚住 隆太 

私は、特定非営利活動法人サステナビリティ日本フォーラムの 2023 年 1 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日までの会計年度における会計及び業務について監査を行い、以下の通り報告します。

1. 2023 年度活動計算書及び貸借対照表並びに財産目録は会計帳簿と一致し、特定非営利活動法人サステナビリティ日本フォーラムの財政状態及び収支の状況を正しく示しているものと認める。
2. 2023 年度事業活動報告書記載内容は、監査した範囲で真実を示しているものと認める。
3. 理事の職務執行に関する不正事項、及び法令・定款に違反する事項は認められなかった。

以上

サステナビリティ日本フォーラム 2024 年度事業計画

(2024 年 1 月 1 日～2024 年 12 月 31 日)

「サステナビリティに資する情報開示がその取り組みを推進すると考え、持続可能な社会構築に向け、活動を行う」ことを目的とする Sus-FJ は、2002 年の創設以来、GRI スタンドールの普及を皮切りにマルチステークホルダーとともにサステナビリティに資する多様な事業を行っています。昨年末に 2023 年度の会計年度を迎え、次年度以降の方針を理事の皆様にご諮るため、事業計画案を下記の通りお伝えします。

- 事業概要と今年度の事業案 (p.8-9)
- Sus-FJ における主な環境負荷への取り組み (p.9)
- 会計 (p.10-13)
- TCFD 提言に基づく、気候変動や生物多様性に関わる将来的な影響と 2050 年までの日本と世界の俯瞰、Sus-FJ の戦略検討 (p.14)

事業概要 ◎:会員拡大含め一般向けにも開催 ○:会員向けに開催

事業部門		管理部門
企業の CSR 活動を啓発・促進する事業	○研究会 ○サステナビリティ基礎講座 ○サステナビリティ座談会 ○サステナビリティ中級講座	○役員懇談会 ○会員メールマガジン ・会員専用ページ運営 ○メールマガジン/ウェブサイト
サステナビリティ社会構築に向けた調査・研究・支援事業	◎オンライン SDGs ツアー Z 世代とサステナビリティ社会を描く	
サステナビリティレポートの国際標準をめざす GRI スタンドールの普及・啓発事業		
サステナビリティレポートに関する研究を推進し、国内外へ提言・提案を行なう事業	◎TCFD 各種ガイダンス ◎TCFD コンパスマンガ	

今年度の事業案 青字は 2024 年度新規取り組み

・ESRS、EU サステナビリティ報告基準研究会

開催	講師等	研究内容	2024 年 (←23←22←21←20←19 年) 人数・社数
パート 1 (インプットパート) 春頃	後藤 敏彦	CSRD、ESRS の基準について	21・15 社 (←26・19 社←24・11 社←30・16 社←23・12 社←35・14 社)
パート 2 (ESG に則る 3 つの分科会) 秋頃		対象企業: 入会期間 2-3 年の企業会員の過去 3 年のレポートを題材に ESG それぞれありたい姿、事業や財務計画を検討	
パート 3		TCFD コンパス成果物ワークショップ	

・TCFD (気候関連財務情報開示タスクフォース) の 2 文書 (TCFD コンソーシアム共訳) と 3 文書の私訳版ならびに TCFD コンパスマンガ (日本語、中国語、英語) の普及、EU 企業のサステナビリティ報告に関する規則 CSRD の翻訳 2 (←1←8←1←1←2) 冊数

・外部講演・進行 1 (←0←2←1←0←3) 回数

・サステナビリティ関連講座

開催	タイトル	講師	2024 年 (←23←22←21←20←19) 参加者 (非会員)
3/26 (火) 18:30-20:15	サステナビリティ座談会 第 2 期 後藤塾 情報開示の背景とこれから～企業のプロアクティブな取り組み～、ゲスト野月さん	後藤 敏彦	15 (3) (←21←N/A←7←6←8)
2/6&13,3/5&13,4	サステナビリティ基礎講座 (前半・後)	金澤	33 (8) (←65←46←51←32←47)

/98&16,6/11&18,7 /98&16,11/12&19	半の2日制)全6回	厚	
秋頃	サステナビリティ中級講座	未定	? (←21←72←N/A←N/A←N/A)

- ・オンラインSDGsツアー
10 (←6←32←38←33←10) 参加者数
- ・Z世代とサステナビリティ社会を描く
? (←80←69←145←18←N/A) 参加者数/履修数
- ・引き続き環境監査研究会、NSC (サステナビリティ・コミュニケーション・ネットワーク) 等、関連団体との体系的な協力を図る
- ・ウェブサイト (フェイスブックページ含)、会員専用ページの運営
- ・メールマガジンの配信
20・40% (←23・39%←22・38%←22・30%←26・N/A←19・N/A) 発行数・開封率
- ・役員懇談会 35 (←54←55←56←59←52) 参加者数
- ・次期代表理事の検討
- ・2025年を目安に年会費を下記の通りに改訂することを検討

正会員		賛助会員	
CSO (NGO)会員 ／個人会員 ※	10,000 円→12,000 円	個人会員	10,000 円→12,000 円
中間組織会員 ※2	50,000 円→60,000 円	団体会員	100,000 円→120,000 円
企業会員	100,000 円→120,000 円	※1 本会の目的に賛同して入会いただける個人または NGO ※2 本会の目的に賛同して入会いただける労働組合、シンクタンク等中立的組織	

- ・総会、理事・評議員会 ※金額について一部誤記があったため次回8月の理事会で修正決議予定

開催日	総会、理事・評議員会	2024 年 (←23←22←21←20←19) 委任状含む出席
2/26	評議員会決議事項 理事の選任 理事会決議事項 2024 年度事業計画 (案) および予算 総会決議事項 2023 年度事業報告および決算	総会 47 (←66←46←64←54←44) 理事会 14 (←17←14←15←15←12) 評議員会 17 (←23←N/A←20←18←13)

Sus-FJ における主な環境負荷への取り組み

Sus-FJ における主な環境負荷は、基本を在宅勤務としていることから (1) 研究会・授業などのための各地への移動、(2) 印刷物などコピー用紙の使用と使用後紙の処理、(3) パソコン利用のための電力消費の3点です。

今後はコピー用紙を低白色度の再生紙や FSC 認証製品を利用していくとともにカーボンオフセットの実現可能性についても検討していきます。

【移動】

150 (←130.5←244.2←143.7←114.9←228.9) (CO₂ kg)

【印刷・コピー用紙購入】

2.0 (←5.2←9.7←1.3←0.8←2.3) (kg)

【電力消費】

0.025 (←0.018←0.031←0.015←0.001←0.03) (CO₂ kg) 内 23 年度は 11%が再エネ賛同 賛同団体一覧 | 自然エネルギー100%プラットフォーム (go100re.jp)

2024年度 活動予算書

2024年1月1日から2024年12月31日まで

収益の部		特定非営利活動法人 サステナビリティ日本フォーラム			
		(単位：円)			
科 目	2023年度決算		2024年度予算		差異
1 受取会費					
正会員受取会費					
企業	2,750,000		2,800,000		50,000
中間組織	350,000		300,000		-50,000
CSO（NGO）	75,000		80,000		5,000
個人会員	805,000		810,000		5,000
賛助会員受取会費					
団体会員	0		0		0
個人会員	80,000		60,000		-20,000
		4,060,000		4,050,000	-10,000
2 受取寄附金	5,000	5,000	0	0	-5,000
3 受取助成金	0	0	0	0	0
4 事業収益					
(1) 企業のCSR活動を啓発・促進する事業	227,000		339,000		112,000
(2) サステナビリティ社会構築に向けた調査・研究・支援事業	684,000		840,000		156,000
(3) サステナビリティ・レポートの国際標準をめざすGRIスタンダードの普及・啓発事業	0		0		0
(4) サステナビリティ・レポートに関する研究を推進し、国内外へ提言・提案を行う事業	0		0		0
(5) その他関連事業	0		0		0
		911,000		1,179,000	268,000
5 その他収益					
受取利息	67		60		-7
雑収入	357,000		300,000		-57,000
懇親会費収入	318,500		312,000		-6,500
		675,567		612,060	-63,507
経常収入合計		5,651,567		5,841,060	189,493

費用の部

(単位：円)

科 目	2023年度決算		2024年度予算		差異
1 事業費					
(1) 企業のCSR活動を啓発・促進する事業	727,644		510,000		-217,644
(2) サステナビリティ社会構築に向けた調査・研究・支援事業	23,493		200,000		176,507
(3) サステナビリティ・レポートの国際標準をめざすGRIスタンダードの普及・啓発事業	0		0		0
(4) サステナビリティ・レポートに関する研究を推進し、国内外へ提言・提案を行う事業	1,030		20,000		18,970
給料賃金	1,476,134		1,710,000		233,866
賞与	90,000		25,000		-65,000
業務委託費	378,195		315,000		-63,195
雑費	0		0		0
		2,696,496		2,780,000	83,504
2 管理費					
(1) 人件費					
給料賃金	1,476,135		1,710,000		233,865
賞与	90,000		25,000		-65,000
雑給	0		0		0
退職給付費用	0		0		0
法定福利費	404,400		210,000		-194,400
福利厚生費	2,319		3,000		681
(2) その他経費					
会議費	13,090		14,000		910
旅費交通費	41,467		60,000		18,533
通信運搬費	173,436		200,000		26,564
消耗備品費	1,727		20,000		18,273
減価償却費	25,000		25,000		0
印刷製本費	0		25,000		25,000
研修図書費	0		0		0
交際費	0		10,000		10,000
諸謝金	1,113		10,000		8,887
諸会費	10,000		15,000		5,000
支払手数料	78,474		70,000		-8,474
租税公課	0		0		0
業務委託費	378,195		315,000		-63,195
広告宣伝費	0		0		0
雑費	356,500		250,000		-106,500
		3,051,856		2,962,000	-89,856
経常費用計		5,748,352		5,742,000	-6,352
当期経常増減額		-96,785		99,060	2,275

(参考)

2023年度 活動計算書

2023年1月1日から2023年12月31日まで

収益の部

特定非営利活動法人 サステナビリティ日本フォーラム

(単位: 円)

科 目	2023年度予算		2023年度決算		差異
1 受取会費					
正会員受取会費	2,900,000		2,750,000		-150,000
企業	300,000		350,000		50,000
中間組織	70,000		75,000		5,000
CSO (NGO)	800,000		805,000		5,000
個人会員					0
賛助会員受取会費			0		0
団体会員	10,000		80,000		70,000
個人会員	0				
		4,080,000	0	4,060,000	-20,000
2 受取寄附金	0	0	5,000	5,000	5,000
3 受取助成金	0	0	0	0	
4 事業収益					
(1) 企業のCSR活動を啓発・促進する事業	170,000		227,000		57,000
(2) サステナビリティ社会構築に向けた調査・研究・支援事業	900,000		684,000		-216,000
(3) サステナビリティ・レベリングの国際標準をめざすGRIスタンダードの普及・啓発事業	0		0		0
(4) サステナビリティ・レベリングに関する研究を推進し、国内外へ提言・提案を行う事業	0		0		0
(5) その他関連事業	0				
		1,070,000		911,000	-159,000
5 その他収益					
受取利息	0		67		67
雑収入	0		357,000		357,000
懇親会費収入	500,000		318,500		-181,500
		500,000		675,567	175,567
経常収入合計		5,650,000		5,651,567	1,567

費用の部

(単位：円)

科 目	2023年度予算		2023年度決算		差異
1 事業費					
(1) 企業のCSR活動を啓発・促進する事業	600,000		727,644		127,644
(2) サステナビリティ社会構築に向けた調査・研究・支援事業	80,000		23,493		-56,507
(3) サステナビリティ・レポートの国際標準をめざすGRIスタンダードの普及・啓発事業	0		0		0
(4) サステナビリティ・レポートに関する研究を推進し、国内外へ提言・提案を行う事業	0		1,030		1,030
給料賃金	1,170,000		1,476,134		306,134
賞与	0		90,000		90,000
業務委託費	0		378,195		378,195
雑費	0		0		0
		1,850,000		2,696,496	846,496
2 管理費					
(1) 人件費					
給料賃金	1,170,000		1,476,135		306,135
賞与	0		90,000		90,000
雑給	0		0		0
退職給付費用	0		0		0
法定福利費	150,000		404,400		254,400
福利厚生費	10,000		2,319		-7,681
(2) その他経費					
会議費	10,000		13,090		3,090
旅費交通費	50,000		41,467		-8,533
通信運搬費	200,000		173,436		-26,564
消耗備品費	140,000		1,727		-138,273
減価償却費	50,000		25,000		-25,000
印刷製本費	0		0		0
研修図書費	10,000		0		-10,000
交際費	10,000		0		-10,000
諸謝金	20,000		1,113		-18,887
諸会費	15,000		10,000		-5,000
支払手数料	60,000		78,474		18,474
租税公課	0		0		0
業務委託費	830,000		378,195		-451,805
広告宣伝費	30,000		0		-30,000
雑費	250,000		356,500		106,500
		3,005,000		3,051,856	46,856
経常費用計		4,855,000		5,748,352	893,352
当期経常増減額		795,000		-96,785	698,215

【給料賃金は例年と同水準、2023 年度就業規則の変更により賞与を支給】

職員（正職員と短時間正職員の総称）とパートナー（契約職員と出向職員の総称）の給料賃金は、担当業務に基づき決定しています。

23 年度	阪野	櫻田	張
基本業務（時間あたり、円）	1,438	1,438	1,113
マネジメント（同）	883		
時給 計	2,321	1,438	1,113
月間時間数	62	40	17

TCFD 提言に基づく、気候変動や生物多様性に関わる将来的な影響と 2050 年までの日本と世界の俯瞰、Sus-FJ の戦略検討

案の一つです

【シナリオ分析】

気温 1.5℃上昇でサステナビリティ開示も進む ・自然災害（風水害・旱魃）地域によっては深刻化 →食料生産地の被災や交通・物流の影響は限定的 +都市集積/地方分散が並行・水利用も増えるが、生態系保全も進められ生物多様性の危機も限定的 ・日本の人口 1 億 1 千万人のうち 7 割が SDGs（もしくは SDGs の後継）を認知 →市場での GHG 排出量取引や関連事業が活発化 +サステナビリティ開示は一般要件化	気温 3℃上昇だがサステナビリティ開示が進む ・自然災害（風水害・旱魃）深刻化 →食料生産地の被災→食料価格も高騰 +交通・物流の影響→コストもリスクも上昇 ・学校/社会教育を通じた学びが広まるものの現実世界に疲弊し排他主義が進行 →グローバルな市場に目を向けると米国では、炭素税の導入が加速。他方で北欧では原子力発電所の建設が進んでいる
気温 1.5℃上昇だがサステナビリティ開示の広まりは限定的 ・自然災害（風水害・旱魃）地域によっては深刻化 →食料生産地の被災が続けば食料価格も高騰 ・ESG 投資の揺り戻しにより情報開示は迷走 →他方で実効性が弱まった既存枠組を中国、インドが最大限利用することでプレゼンスを高める	気温 3℃上昇でサステナビリティ開示の広まりも限定的 ・自然災害（風水害・旱魃）深刻化 →食料生産地の被災→食料価格も高騰 ・各主体が保身に走り、未来への投資が進まずかかるコストの削減が求められる →生態系も損なわれ続ける→新たな戦争も勃発

【ガバナンス】

Sus-FJ のガバナンスは理事で構成される理事会と理事を選任する評議員会との相互作用により成り立っています。事務局の果たす役割も大きいです。気温 1.5℃で社会構成員のなかでも影響力が大きい事業者が取り組みを進めるためのサステナビリティ情報開示が実現された世界を目指すためには団体の意義を確認しながら現状把握を行い半歩先を行く活動を行っていきます。

【戦略】

創立以来のマルチステークホルダー形式による活動を進めるとともに気温 3℃を回避しサステナビリティ情報開示によりもたらされる結果を継続的に生み出すしくみづくりや共創につながる場づくりに注力していきます。

【リスクマネジメント】

課題や取り組みの具体的な共有に次いで最新情報の入手の点でお役立ちになっているという 2019 年の会員アンケートの結果からも今後も国際的なサステナビリティ情報開示への理解に努めていきます。しかしながら GRI スタンドと相互運用していく方針の ESRS、欧州サステナビリティ報告基準や ISSB に収れんされていくなかで普及・啓発フェーズとは異なる戦略を検討し進めていく必要があります。

【指標と目標】

会員の増減や事業者の CO2 や廃棄物の排出量、再生可能エネルギーや持続可能な原料の使用量の開示内容や進捗を指標とします。Sus-FJ は単年度会計重視でこれまで活動してまいりましたが、今後どのようなことに投資をすべきかについての検討も具体的に進めてまいります。

役 員 選 任

特定非営利活動法人 サステビリティ日本フォーラム

新 任 （任期： 令和6年3月17日～令和7年3月16日）

役職	氏 名 (各50音順・敬称略)	所 属	報酬	備 考
理事	井上 久美枝	日本労働組合総連合会	無	非常勤
理事	宮地 信幸	株式会社セブン&アイ・ホールディングス	無	非常勤

現在の顧問

役職	氏 名 (各50音順・敬称略)	所 属	報酬	備 考
顧問	木内 孝	株式会社イースクエア	無	非常勤

現在の理事・評議員・監事（任期： 令和5年3月17日～令和7年3月16日）

役職	氏 名 (各50音順・敬称略)	所 属	報酬	備 考
理事	稲岡 稔	ブルーリッジ・アストリアス・インスティテュートLLC	無	非常勤
理事	牛島 慶一	EY新日本有限責任監査法人	無	非常勤
理事	大石 美奈子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会	無	非常勤
理事	上妻 義直	上智大学	無	非常勤
理事	小木曾 麻里	株式会社SDGインパクトジャパン	無	非常勤
理事	後藤 敏彦	環境監査研究会	無	代表理事・非常勤
理事	笹谷 秀光	千葉商科大学基盤教育機構	無	非常勤
理事	鈴木 均	一般財団法人日本民間公益活動連携機構	無	非常勤
理事	藺田 綾子	株式会社クレアン	無	非常勤
理事	竹本 徳子	株式会社Miller Takemoto & Partners	無	非常勤
理事	富田 秀実	LRQAサステナビリティ株式会社	無	副会長・非常勤
理事	戸波 朝子	富士フイルムビジネスイノベーション株式会社	無	非常勤
理事	中山 泰男	セコム株式会社	無	非常勤
理事	宮井 真千子	森永製菓株式会社	無	会長・非常勤
理事	村上 千里	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会	無	非常勤
監事	魚住 隆太	魚住サステナビリティ研究所	無	非常勤
評議員	足立 直樹	株式会社レスポンスアビリティ	無	非常勤
評議員	織田 創樹	公益財団法人農学会	無	非常勤

評議員	尾山 優子	一般社団法人環境パートナーシップ会議	無	非常勤
評議員	金山 亮	デロイト トーマツ グループ	無	非常勤
評議員	河口 真理子	立教大学	無	非常勤
評議員	北村 暢康	サントリーホールディングス株式会社	無	非常勤
評議員	倉阪 秀史	千葉大学大学院	無	非常勤
評議員	黒瀬 友佳子	帝人株式会社	無	非常勤
評議員	國部 克彦	神戸大学大学院	無	非常勤
評議員	坂本 有希	一般財団法人地球・人間環境フォーラム	無	非常勤
評議員	猿田 晃也	KPMGあずさサステナビリティ株式会社	無	非常勤
評議員	下野 隆二	パナソニックホールディングス株式会社	無	非常勤
評議員	鈴木 隆博	イオン株式会社	無	非常勤
評議員	高取 幸子	味の素株式会社	無	非常勤
評議員	竹内 光男	NPO法人ゼリ・ジャパン	無	非常勤
評議員	竹ヶ原 啓介	株式会社日本政策投資銀行	無	非常勤
評議員	田瀬 和夫	SDGパートナーズ有限会社	無	非常勤
評議員	田原 英俊	PwCサステナビリティ合同会社	無	非常勤
評議員	寺中 誠	東京経済大学	無	非常勤
評議員	パク・スックチャ	アパシヨナータ, Inc.	無	非常勤
評議員	藤野 純一	公益財団法人地球環境戦略研究機関	無	非常勤
評議員	水口 剛	高崎経済大学	無	非常勤
評議員	三橋 優隆	サステナブルバリューアドバイザリー株式会社	無	非常勤

退 任

役職	氏 名 (各50音順・敬称略)	所 属	報酬	備 考
理事	石上 千博	日本労働組合総連合会	無	非常勤
理事	加藤 三郎	認定NPO法人環境文明21	無	非常勤
理事	釣流 まゆみ	株式会社セブン&アイ・ホールディングス	無	非常勤
評議員	佐藤 方俊	一般社団法人日本監督士協会	無	非常勤

※個人が所属する組織が会員とは限りません